

令和7年度 放課後子供教室 目標と実績

背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 値 単 位	目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
核家族化や共働きが進み、放課後に家族以外と過ごすことや郷土芸能に親しむなど、多様な体験活動を行う機会が減少している。	これまで企画してきた行事も継続しつつ、新たに地域の方とふれあう機会として、新たに企画行事を企画・実施する。	企画行事として昨年同様、布ぞうりづくり教室を実施。また、郷土芸能教室は内容を変更し、地域に根付く秩父音頭の講習会を実施した。指標としている、企画回数を増やすことはできなかったが、新たな地域住民との交流の場となった。	友人や指導員、ボランティア等と一緒に多様な活動を行うことで、多くの人とのふれあいや、郷土芸能を学ぶ。	企画行事の回数	2回	3	3	企画を一部見直して実施したことで、参加者は新たな体験活動を経て、地域の方や友人とふれあいながら、のびのびと活動することができた。 企画実施にあたり、実施する時期および内容の見直しを図ることで、より多くの体験活動を今後も計画していく。
学校の授業以外で学習を行うことに対する指導等が学校・家庭の共通の課題となっている。	教室開室時の宿題の見守り等、学習支援の場を設け引き続き支援を行う。	放課後子供教室に参加した児童に対し、活動の前にはまず宿題に取り組むよう指導し、宿題の見守り等実施したところ、回を重ねるごとに自主的に取り組む意識が身についてきた。今後も継続し、勉強への苦手意識を払拭させ、家庭でも取り組むよう支援を続ける。	学校以外で日常的に学習を行う児童生徒が増える。	週に4時間以上学校以外で勉強する児童生徒の割合	18%	45	50	宿題の見守り等支援を行うことにより、解いている途中でわからない点等をすぐに指導員に質問できる環境づくりを行っている。それによって勉強への苦手意識が軽減し、学校以外でも勉強する意欲の向上につながったものとする。今後も継続しさらなる意欲向上を図っていく。